

2026年度 認定講習会B（解釈）コース 受講者募集要項

2026年度のBコースは、オンライン講義と対面でのケース検討という形で実施します。プログラム内容の一部と、日程の設定等例年とは若干異なります。募集要項の内容をよくご確認の上、応募をご検討ください。

< B（解釈）コースの実施要領 >

1. 日 程：

前半の「解釈過程講義編」(5日間)

オンライン講義：6月13日(土)・14日(日)・21日(日)・27日(土)・28日(日)

後半の「症例検討編」(6日間)

ケース検討(4日間)：7月17日(金)・18日(土)・19日(日)・20日(祝月)

(開催地は、北九州市小倉)

オンライン講義(2日間)：8月1日(土)・2日(日) ※最終日14:00(予定)

第46回 感覚統合療法認定講習会 B（解釈）コースプログラム(予定)

		午 前 (9:00-12:30)	午 後 (13:30-17:00)
解 釈 講 義 編	※	6/13(土)	オリエンテーション 感覚統合の問題の理解(1)
	※	6/14(日)	感覚統合の問題の理解(2)
	※	6/21(日)	解釈過程の理解 1 (行為機能の問題)
	※	6/27(土)	解釈過程の理解 2 (感覚調整の問題)
	※	6/28(日)	ケースの解釈(演習1)
症 例 検 討 編		7/17(金)	ケース検討
		7/18(土)	ケース検討
		7/19(日)	ケース検討
		7/20(月)	ケース検討
	※	8/1(土)	ケースの解釈(演習2)
	※	8/2(日)	感覚統合理論の臨床的展開

※⇒オンライン講義

2. 講 師：学会認定講師及びインストラクター

3. 募集定員：前半 35 名(予定) 後半 12 名 (予定)

※後半に関して：1 グループ 4 人構成の為、グループを構成できる人数がそろわない場合は、定員数が予定より下回る場合があります。

【受講パターン】

- ① 前半の「解釈過程講義編」と後半の「症例検討編」をセットで受講
⇒申込の時点で、持参する予定症例の JPAN と臨床観察及 JSI-R か SP の評価結果がそろっている必要あり
- ② 前半の「解釈過程講義編」を受講（後半の「症例検討編」は年度を分けて受講）
⇒原則、「解釈過程講義編」の受講から 5 年以内に「症例検討編」を受講することが望ましい
- ③ 前半の「解釈過程講義編」のみを受講
⇒職場環境その他の事情で、症例を用意して「症例検討編」を受講することが困難であるが、JPAN の解釈を学びたい
- ④ 後半の「症例検討編」を受講
⇒すでに前半の「解釈過程講義編」を受講している

【受講資格】

- ① 感覚統合療法認定講習会 A（基礎・評価）コースの全日程を終了し、検査手続きのチェック（A' コース）を受け、合格の評価を得ていること。
- ② 日本感覚統合学会の会費を納めていること(2026 度分までのすべての期間)。
- ③ A コース受講後 5 年以内が望ましい。
⇒5 年を経過して受講を希望する場合は、申し込みされる前に(検査のデータを取られる前に) B コース担当にメールにてご相談ください。「理由書」を提出していただきます。状況によっては A' コース（JPAN 及び臨床観察）を再度受講していただく場合があります。
- ④ 2026 年度は一部を除いて Zoom ミーティングによるオンライン方式での講習のため、オンラインでの受講が可能な環境が整っていること（講義での動画の視聴・グループ討議ではカメラオンでのディスカッションなど）が必要になります。安定したオンライン環境（有線でのネット環境を推奨）及び PC 環境（動画の視聴や送信に必要なスペック・Web カメラ・マイク付き PC）等をご準備ください。

※「解釈コース」ですので、A コースの内容を理解していることを前提に講義が進みます（職種に関わらず）。

※講義の中で JPAN や臨床観察の各下位検査に関しての話や、実際に JPAN や臨床観察を実施した際のお子さんの反応に関してのグループワーク、JPAN や臨床観察の評価結果を基にケースを解釈するグループワークがあります。解釈において、お子さんのパフォーマンスの観察が重要になります。前半のみの参加の方であっても、JPAN や臨床観察の各下位検査のやり方を復習するとともに、JPAN や臨床観察をお子さんに実施する機会を経て参加することを推奨します。臨床観察は、検査道具がなくても行えますので、定型発達のお子さんでも、大人の方でも良いので、どのような反応がみられるのかの情報を持ってご参加ください。

4. 受講料：前半後半セットで受講⇒110,000円（消費税含む）

前半のみ、後半のみ受講の場合⇒各 55,000円（消費税含む）

- ・期日までに振り込みがない場合は、キャンセルとみなします。
- ・職場事情により振り込みが遅れる場合は、受講決定通知に記載されております担当者にメールにてご相談ください。
- ・申込者のご都合により振り込み期限後に受講をキャンセルされる場合、原則として納入された受講費の払い戻しはいたしません。また、受講者側の機器（パソコン、タブレット等）・通信設備（インターネット回線、Wi-Fi等）のトラブル等により講習会を受講できなかった場合も同様の対応となります。
- ・振込手数料は各自ご負担ください。

【注意事項】

- ①天災、社会情勢、講師の急病、主催者側の機器やインターネット回線のトラブル等のやむをえない事情により講習会を中止・延期（日時の変更、時間の変更等）することがあります。中止・延期の連絡は受講予定者にメールでお知らせいたします。中止の場合は、受講費は全額をご返金させていただきます（受講費の振り込み時にご負担の振り込み手数料は、返金対象外となります）。これに伴い発生した交通・宿泊費等は各自でご負担いただくことになります。ご理解ご了承をお願いいたします。延期の場合は、その後の対応に関して主催者側で検討後、受講者にメールにてご連絡いたします。延期による日程変更に伴い参加が困難となった場合の受講料の返金は、中止と同様の対応とさせていただきます。
- ②後半のケース検討に関して⇒感染症に関する社会状況によっては、対面での講習からオンラインでの講習に変更になります。変更の連絡は受講予定者にメールでお知らせいたします。

5. 募集期間：2026年3月2日（月）～4月3日（金） ※後半参加のレポート提出：消印有効

6. 受講決定：2026年4月末に通知いたします。

受講決定の判断基準は、以下の7点を考慮しています。

- ①前述の受講資格を満たしていること
- ②応募書類に不備がなく、期日が守られていること
- ③Aコース受講年度が早いこと（ただし、Aコース受講後5年以内の受講者を優先する）
- ④後半の「症例検討編」を受講する場合は、作成資料に不備がなく、評価結果もそろっていること（JPAN…Aセット～Cセットすべての実施、臨床観察(サマリーシート1～19の実施)、JSI-RかSPは必須）。また必要な映像を準備できること
注意：A'終了後に評価したデータであること
- ⑤定員以上の応募があった場合、同職場からの複数応募の際はそこから1名とする場合がある

7. 申込方法

*前半・後半通しての受講を希望される方及び後半のみの受講を希望される方

①受講申し込みフォーム（Google）

②予定症例の資料（下記の「8. 申し込みにおける注意事項」を参照の上、
A4用紙2～3枚程度にまとめること）

③同意書（下記の「8. 申し込みにおける注意事項」を参照）

②と③は申込
先まで郵送
下さい

*前半のみの受講を希望される方

①受講申し込みフォーム（Google）

※受講申し込みフォーム（Google）には、Aコースにて学習した内容に関して確認させていただく
質問項目の記載があります。

8. 申し込みにおける注意事項⇒後半の「症例検討編」に参加の場合

【予定症例について】

①Bコース後半の「ケース検討」では、症例1名（受講申し込みの際に提出した症例）の評価結果をまとめた、症例レポートをもとにグループで検討を行います。症例は、LD/SLD又はその疑いのある子ども、DCD、検査可能なASD、ADHDなどで、主訴を感覚統合理論の観点から考察することに意味があると思われるお子さんとします。原則として受講希望者が担当しているお子さんであること。検査実施においては、評価の信頼性を損なわない程度に評価を遂行することに留意してください（年齢が小さいお子さんを対象とする場合は配慮）。

②予定症例については、以下の7項目にそって資料を作成してください（申し込みの時点では、**要旨をA4用紙片面2～3枚程度にまとめる**）

- ・ 提出者氏名、所属
- ・ 対象児年齢、性別
- ・ 診断名
- ・ 主訴（主訴は具体的に、詳細に情報収集してください）
- ・ 症例の特徴（生育歴、医療歴、現在の様子、遊びの様子など）
- ・ 評価結果のまとめ：
感覚統合検査結果…J P A N・臨床観察・JSI-R又SPは必須
(JPANプロフィールと臨床観察サマリーシート添付)
対象児を把握する上で必要となる種々の検査結果…知能検査等
- ・ 検査中の反応…検査結果の信頼性に関わる特徴的な反応など（例えば、感覚防衛的反応、衝動性、注意・集中、情動的反応、拒否など）

【同意書に関して】

学会として講習会での個人情報の扱いに関する説明を提示するとともに、持参する症例のご家族の同意書を取っていただくことになりました（受講生各自、職場での個人情報保護のため

の手続きを踏んでいると思いますが、それとは別になります)。

皆様への説明用と持参する症例のご家族様用のものがありますので、「個人情報の利用目的と利用に関するお願い」をよく読んで、ご家族様に丁寧に説明し、同意書の記入をご依頼ください。ご記入いただいた同意書の原本は学会に提出していただき、同意書のコピーと同意撤回書をご家族にお渡しください。

同意書及び同意撤回書は、学会 HP の講習会開催案内よりダウンロードください。

9. 受講決定後に必要となる資料について（後半の「症例検討編」に参加の場合）

受講が決定した際には以下のような資料が必要となります。

検査（評価）を実施するにあたりご確認ください。詳細は受講決定通知にてお知らせします。

(1) 症例報告レポート（申し込み時点では要旨のみまとめたものですので、詳細な内容のものになります）

(2) 検査結果資料及び映像

- ① 感覚統合検査結果：感覚統合発達記録、JPAN、臨床観察、JSI-R 又は S P、その他の検査用紙
 - ② 関連する検査結果：知能検査・発達検査他（結果のみでなく用紙全てを持参すること、または、下位検査の情報や所見などの情報を確認してください）
 - ③ 対象児の様子がわかる資料（人物画や学校のプリントなど）
 - ④ 対象児に関する映像：
 - ・感覚統合検査場面の映像（**JPAN はすべての下位検査の実施場面、臨床観察はサマリーシート 1～19 までの実施場面**）
 - ・対象児の特徴がみられる遊びの場面の映像→お子さんが環境に対して主体的に能動的にどのようにかかわるのかがみられる遊びの場面であることが望ましい。
- ※個人情報の関係で、映像の持ち出し等厳しい職場もあるかと存じますが、原則映像なしでの参加はお受けできません。

10. 受講申し込みフォーム・申込先・問い合わせ先

[受講申し込みフォーム]

<https://forms.gle/zZucud7nzRbyZL766>



[後半受講希望者の症例資料の送付先]

〒197-0832 東京都あきる野市上代継 84-6

西多摩療育支援センター 上代継診療所

認定講習会 B コース担当 石原幾子

[問い合わせ先]

メールアドレス：si_ninteikousyukai_b@yahoo.co.jp

認定講習会 B コース担当 石原幾子

※問い合わせは E-mail にてお願い致します。

電話でのお問い合わせがないようご注意ください。

11. その他：学会への入会手続きやお問い合わせは、以下の事務局にお願い致します。

〒732-0828 広島県広島市南区京橋町 8-10 青木ビル 202

一般社団法人日本感覚統合学会事務局 宛

FAX : 025-257-4512

E-mail : si-jimukyoku2019@clock.ocn.ne.jp